

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
電話：03-5842-6035 FAX:03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
6月5日
発行

核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

北海道→東京コース通し行進者の丸宗市さん（太平洋）の日記を紹介します。

5月29日（水）《24日目》

とうや水の駅での朝の宣伝行動。通行人は少なかったですが、熱い声援、手ふり、声かけがあり元気をもらいました。

洞爺湖町の平和の集いには20人が参加。新婦人の歌声サークルのリードで平和の歌を参加者全員で合唱。盛り上がり充実した会でした。平和行進は12人でしたが意気軒昂でした。



5月31日（金）《26日目》



今日は朝、長万部を訪問。皆さんには次年度からは協賛金への協力を依頼。町で運営している平和祈念館（1983年8月15日誕生）には本郷新の平和の願いを込めた彫刻、丸木位里、俊夫妻の原爆の図-母子像などが展示されており、平和を発信していました。

北海道で唯一、太平洋と日本海を持つ八雲町、入口には非核宣言都市の看板が。毎年中学生4人を派遣しています。

夕方からは雨の中30人近くの人が集合。行進するかどうかの雨でしたが、やることに。両親に連れられた2歳と4歳の幼児も含めて20人を超す参加者での雨中行進。

終わった後の交流会にもほとんどの人が参加。八雲町の人々の熱気に元気をもらいました。

6月1日（土）《27日目》

森町の行進では、八雲町の応援もあり30人の参加者で大いに盛り上がりました。歩けなくても、沿道で出迎える人-5人ほど-もいて、これも立派な行進参加者だと思いました。参加者にスカーフを配るなど行進成功に向けての心配りに感心しました。

七飯町では、役場前の「非核宣言都市」の看板が出迎えてくれ、休日にもかかわらず総務部長が町長のメッセージを代読しました。激励とともに中学生6人を今年も派遣することを報告してくれました。

朝からの行進には仙台から駆けつけてくれた叶夫妻も参加しており平和行進の魅力を感じました。

16時からは万年寺をスタートして函館駅に。東京で同僚だった岡元さんも駆けつけてくれ感激しました。今日が北海道の最後になります。

